

1面からつづく

100人待ち。妻はまだ心の傷が癒えないもの

福井記念病院(神奈川、義母のために新しい服や下着を買いそろえただけが、病院に足が向か

に頼まれ、記者は面会がないまま半年が過ぎた。途絶えていた長男を捜し

た。5月下旬、病院から伝えるど、チャコさんは「元氣にしてください。本

の住宅街で、長男夫婦と暮らしていた一戸建を売

見つけた。長男は57歳の会社員。母からの手紙を

受け取る「会いに行き上京して24歳で結婚

たいですが……」と戸惑った顔をした。

8年前に父親を亡く家はね、私の退職金も出

し、その翌年、母親のちヤコさんが認知症を発症

する。入院まで5年間、6月のある日、夕食を

老いて さまよう 閉鎖病棟から

だ特別介護老人ホト公は半年ほど前に申し込んが、夕食後の夜勤は3人通っている。で毎週末、遠方の病院にし、自身も糖尿病の治療的にになった妻は体調を崩す。だが、服薬などでや警察に昼夜を問わず電にいじめられたと親戚し声を上げた。「すみません。トイとお願ひしま

残る家族も癒えぬ傷



ホーレビナーズ室から最も近い自分の病室で、トイレの準備をしてもらうチャコさん(左)。「こここの男の人たちはみんな優しい」

から。オムツであるか換の場にも使われる。消らどがある」。運営法を済ませて体調をチェッ

理事長「院内、世間からずれ」

取ひ換えられたチャコさんが抑制帯で車いすに拘束された。両手で車いすをこぎ、わずかな前進を重ねる。ホールのいつも

認知症入院 15年で倍増

厚生労働省によると、03倍、米国の9倍と世

ご意見、情報をお寄せください。メール(tokuhou@mainichi.co.jp)▽フアケス(03・3212・2813)▽千100—8051(住所不要) 毎日新聞特別報道グループ